

兒島喜久雄 こじま きくお 美術史學者。明治二十年十月十日東京生れ、昭和二十五年七月五日歿（八七—一九五〇）。筆名喜久雄、虎耳馬、ト・ト、トト生等。大正三年東京帝國大學文理科大學部學科卒。在學中雜誌『白樺』創刊同人。大正五年『美術新報』編輯、大正十年歐洲留學、昭和十一年東京帝大教授。國立博物館評議員、長尾美術館館長なども。譯著書『天才の手紙』（共譯・小泉鐵編、大正七年一月八日洛陽堂）、『白樺の森』（合著・白樺同人、大正七年二月二十六日新潮社）、『白樺の林』（合著・同、大正八年十二月十日聚英閣）、『美術概論—其他』（昭和十一年一月十八日、改訂増補版・十五年十月二十日小山書店）、『希臘の鉄』（昭和十七年一月二十日道統社）、『美術概論』（昭和二十二年九月二十日小山書店）、『増空隨筆』（昭和二十四年五月二十日京都・全國書房）、『少年美術館』全十二卷（大崎美盛安井曾太郎共編、昭和二十五年十月二十五日—二十七年四月十五日岩波書店）、『日本文化の足方』（合著、昭和二十六年九月二十日社會思想研究會出版部『現代教養文庫』）、『レオナルド研究』（昭和二十七年七月二十日岩波書店）、『美術』（昭和二十九年五月十五日角川書店『角川全書』）、『古代彫刻の臍』（昭和二十一年七月四日岩波書店）、『シヨパンの首像—兒島喜久雄美術論集』（昭和二十九年九月二十日岩波書店）等。